

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方
～「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考えてみよう！～

これからの活用法の提案

- ①義務教育期間からAI・ネットについて学ぶ授業を入れていく(必修として)
- ②学生用AIの作成
- ③コンテストを設ける
- ④国としてAIに関するルールの作成

I AIを使用することのメリットってなんだろう？

- ① 作業効率がいい(労働時間の短縮)
- ② 課題に使用できる(プレゼンとか)
- ③ 難しい文章などを簡単な言葉で説明してくれる

Ⅱ AIにAIの問題点について聞いてみた

AIの問題点について3つの項目で説明してください。



AIの問題点について、以下の3つの項目で説明します。

1. バイアスと公平性

AIは訓練データに基づいて学習するため、そのデータに存在する偏りが結果に影響を与えることがあります。これにより、人種や性別、年齢などに基づいた不公平な判断が生じることがあります。例えば、採用選考やローン審査において、特定のグループが不利になる場合があります。

2. プライバシーとセキュリティ

AIは大量のデータを扱うため、個人情報やプライバシーの侵害が懸念されます。データが不適切に収集されたり、漏洩したりすることで、個人の権利が侵害される可能性があります。また、AIを悪用したサイバー攻撃やフェイクニュースの生成など、新たなセキュリティリスクも生まれています。

3. 透明性の欠如

AIの意思決定プロセスはしばしばブラックボックス状態であり、どのようにして結論に至ったのかが理解しにくいことがあります。この透明性の欠如は、ユーザーの信頼を損ね ↓ 因となり、重要な判断においてその結果を受け入れられなくなることがあります。特に医療や法的な分野では、説明責任が求められます。

長い！

簡単にまとめてみると...

① それ本当に公平？

→ 訓練データに基づくので不公平な判断をしてしまうかも...

② プライバシーとセキュリティ大丈夫？

→ AIに個人情報を抜き取られて誰かに使われるかも...

③ その情報、どこから持ってきた？

→ 出典がわからないのに勝手に使っているのかな...

III AIを使用することのデメリットってなんだろう？

- ①頼りすぎる事...自分で考えることを辞めてしまう
- ②「フェイク」が簡単に作れてしまう
- ③ 自ら何かを生み出せない (AIは心がないため)
- ④AIに関して学ぶ機会が少ないこと、上手く使いこなせないこと

IV 解決するために...まずは教育から

- ①義務教育期間からAI・ネットについて学ぶ授業を入れていく(必修)
- ②学生用AIの作成

V もう一度、これからの活用法の提案

- ①義務教育期間からAI・ネットについて学ぶ授業を入れていく(必修)
- ②学生用AIの作成
- ③コンテストを設ける
- ④国としてAIに関するルールの作成